

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月28日 (2009.5.28)

【公表番号】特表2006-520664(P2006-520664A)

【公表日】平成18年9月14日 (2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2006-508699(P2006-508699)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

A 6 1 C 7/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年4月13日 (2009.4.13)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2】

歯列矯正器具の第 1 セットと歯列矯正器具の第 2 セットとを備える歯列矯正ブレースであって、該ブレースが、中央切歯用の中央切歯器具と、側切歯用の側切歯器具と、犬歯用の犬歯器具と、第 1 双頭歯用の第 1 双頭歯器具と、第 2 双頭歯用の第 2 双頭歯器具と、を備え、

各器具が、基部と、該基部から延在する本体と、該本体を横切って略近心 - 遠心方向に延在するアーチワイヤスロットと、該本体に結合され、該アーチワイヤスロットにアーチワイヤを解放自在に保持するラッチと、を有し、該アーチワイヤが該ラッチに対して一定値を超える力を加える場合に、該ラッチが該アーチワイヤスロットから該アーチワイヤを解放し、

該第 2 セットが、該犬歯器具と、該第 1 双頭歯器具と、該側切歯器具と、のうちの少なくとも 1 つを含み、該第 1 セットが、当該ブレースの残りの器具を含み、該第 2 セットの少なくとも 1 つの器具の該一定値が、該第 1 セットの少なくとも 1 つの器具の該一定値より大きい、

歯列矯正ブレース。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 5】

本発明の別の実施形態は、歯列矯正器具の第 1 セットと歯列矯正器具の第 2 セットとを備える歯列矯正ブレースに関する。本ブレースは、中央切歯用の中央切歯器具と、側切歯用の側切歯器具と、犬歯用の犬歯器具と、第 1 双頭歯用の第 1 双頭歯器具と、第 2 双頭歯用の第 2 双頭歯器具と、を備える。各器具は、基部と、基部から延在する本体と、本体を横切って略近心 - 遠心方向に延在するアーチワイヤスロットと、本体に結合されアーチワイヤスロットにアーチワイヤを解放自在に保持するラッチと、を有する。ラッチは、アーチワイヤがラッチに対して一定値を超える力を加える場合に、アーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放する。第 2 セットは、犬歯器具と、第 1 双頭歯器具と、側切歯器具と

、のうちの少なくとも1つを含み、第1セットは、ブレースの残りの器具を含む。第2セットの少なくとも1つの器具に対する一定値は、第1セットの少なくとも1つの器具の一定値より大きい。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

自己解放式器具の代表的な例は、図3～図5の拡大図に示す器具60である。図示する器具60は、特に上中央切歯で使用するのに適しているが、器具44～52等の残りの器具に略類似している。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

器具60は、器具60を上中央切歯のエナメルに接着剤を用いて直接接合するための基部62を有する。基部62は、歯表面の凸状の複合彎曲に一致する外側に面する凹状の複合彎曲を有することが好ましい。任意に、基部62に、器具60を歯表面に直接接合するのを容易にする、溝、粒子、凹部、アンダーカット、化学結合強化材料もしくは他の任意の材料または構造もしくは上述したものの任意の組合せを設けてもよい。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0063

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0063】

左および右象限26、28に関連する器具44、46、48は、下歯列弓の前歯（すなわち、中央切歯、側切歯および犬歯）のための器具の第1セットを備える。下の左および右象限26、28に関連する器具50、52および54は、下歯列弓の後歯（すなわち、双頭歯および臼歯）のための器具の第2セットを備える。上述したように、各器具44～52は、アーチワイヤスロットにアーチワイヤ58を解放自在に保持するラッチを有する。ラッチは、アーチワイヤが、解放値、すなわち「R」としても知られる一定の値を超える力をラッチに加えた場合に、アーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放する。この解放値は、第2セット（すなわち、後歯のための器具のセット）のうちの少なくとも1つの器具に対する方が、第1セット（すなわち、前歯のための器具のセット）のうちの少なくとも1つの器具の解放値より大きい。